

8 4から7までの事業と一体的に推進する事業に関する事項

[1] 取組の必要性

(1)事業の必要性

JR岩国駅の鉄道・バス等による交通結節機能を活かし、公共交通を利用した中心市街地への来街機会の創出等を目的とした事業を展開する必要があります。

また、市民活動団体等多様な主体が取り組む中心市街地における地域課題の解決につながる活動を支援します。

また、中心市街地ののにぎわい創出には、事業関係者や居住者だけではなく、多様な主体による活動も必要になります。

(2)フォローアップの考え方

事業の進捗状況について毎年度調査を行い、状況に応じて事業促進などの改善措置を講じます。また、計画期間最終年度には、事業の進捗及び成果を調査し、中心市街地活性化の効果を検証します。

[2] 具体的事業の内容等

事業名、内容及び実施時期	実施 主体	中心市街地の活性化を 実現するための位置付け及び必要性
[事業名] モビリティ・マネジメント事業 [内容] 公共交通利用の啓発活動 [実施時期] 令和2年度～令和11年度	岩国市	過度のマイカー利用の抑制と公共交通の利用促進を目的とした啓発活動等を行うことにより、中心市街地への来街を促進します。
[事業名] 市民活動団体支援事業 [内容] 市民活動団体等の公益的活動への支援 [実施時期] 平成24年度～令和11年度	岩国市	市民活動団体が行う中心市街地の課題やニーズに対応した公益的活動への支援を通じて中心市街地ののにぎわいを創出します。